



東京赤坂ロータリークラブ週報
Weekly Report

2012~2013年度クラブテーマ
会長 尾関 武男

「僅かなことにも手を差し伸べよう、そして信頼と絆」
Give a hand to even to the small things. Build trust and bonds.

●本日の例会/ 2012年 9月 21日 第1225回
卓話:「日本を元気にするファーストフード」
篠崎公認会計士事務所 所長 篠崎 真吾 氏

●前回報告/2012年 9月 14日 第1224回例会
卓話:「アサヒビール吾妻橋工場跡地再開発秘話」
アサヒビール株式会社 社友
岩村 一郎 氏



卓話紹介: 石井会員

会長報告

9月11日に千代田グループ会長・幹事会が開催されましたので、報告いたします。

①11月13日(火)15:00~千葉県柏市にある「オーナークリエッジ柏の葉」にて東京みなどRCホストとなり、「復興支援を語り合う夕べ」を開催することが決まりました。IMにかわるもので千代田グループ7クラブの連携をさらに密にするため、クラブの枠を超えた情報交換と、親睦の場を設けたいと考え開催する運びとなりました。会費1名 8,000円。詳細については別途連絡があります。

②地区青少年交換委員会より次年度千代田グループで1名の来日生の受入協力要請がありました。

幹事報告

①クラブ活動計画書ができましたので、ボックスへお配りいたしました。

②9月28日第3回クラブ協議会へのご出席、よろしくお願ひ申し上げます。

出席報告 : 会員40名/出席22名・欠席18名

ゲスト : 岩村一郎(卓話)

ビジター : 羽佐間道夫(東京南RC)、酒井重人(東京日本橋RC)、江澤和彦(倉敷南RC)

計4名(敬称略)

●次回予告/ 2012年 9月 28日(金) 第1226例会
ガバナー補佐公式訪問・第3回クラブ協議会
テーマ:「奉仕プロジェクトについて」

東京赤坂ロータリークラブ

No. 1198 / 2012. 9. 21

例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京

Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

<http://www.akasakarotary.com/>

9月定例理事会議事録

日時: 2012年9月7日(金)例会後 13:40~15:00

場所: ANA インターコンチネンタルホテル東京 1F 「かすみ」

出席者: 尾関、高須、清水、飯島、尾上、村山、

岩上、田村、松本、朴、計10名(順不同・敬称略)

1. 韓国公山城 RC とのマッチングクラントの申請書は、9月14日までにガバナー事務所へ提出できる予定。赤坂 RC の代表連絡担当者を松本国際奉仕委員長、第二連絡担当者を田村奉仕プロジェクト委員長、第三連絡担当者を尾関会長とすることを承認。

2. 社会奉仕委員会連絡事項

①港区民祭りはブースの都合でフリーマーケットから震災支援のパネルを作成展示とした。パネル作成は橋本社会奉仕委員長と事務局で行う。

②震災復興支援関係で贈呈した「松苗木第2補食場」についての報告。9月2日 NHK テレビ報道で、高田松原を守る会が育てている松苗木の畑での草刈りの様子が放送された。高田松原を守る会の鈴木会長が出演され、苗木も順調との事。

③佐々木幹事から依頼があり、高田第一中学校の運動場整備計画の協力依頼が来ているが詳細は佐々木幹事からの情報を待って対応を考えたく思っている。

3. 9月28日第3回ガバナー補佐公式訪問クラブ協議会次第を添付の通り承認。詳細につきましては、奉仕プロジェクト委員会にて検討。

4. 9月14日卓話はアサヒビール株式会社社友の岩村一郎氏、9月21日卓話は篠崎公認会計士事務所所長篠崎真吾氏「日本を元気にするファーストフード」(仮題)を承認。

5. 忘年家族会詳細については親睦委員会にて進める。

6. 本年度予算について添付の通り承認。

7. 本年度親睦旅行は、親睦委員会へ一任。



9月14日(金) / 6件 10,000円

累計271,000円

多額の寄付を有難うございました。

尾関武男/アサヒビールの岩村様、本日の卓話よろしくお願いします。石井謙次/岩村様本日の卓話楽しみにしております。西澤民夫/岩村さん、本日の卓話楽しみにしています。小林さんご苦労様です。佐藤仁/小林さん(開発さん)ニコニコご苦労様です。土屋東一/小林さんいつもニコニコご苦労さまです。小林博茂/先週は急用で欠席しました。SAAフォローしてくださった方々、ありがとうございました。

ガバナー補佐 (Assistant Governor)

文字通り、激務となるガバナーを「補佐」する責任を負うために、理事会の方針に従い、ガバナーから任命される役職です。1996年2月のR I 理事会で、増大し続けるガバナーの責務を軽減するため、「地区リーダーシップ・プラン」(District Leadership Plan=DL P)が、承認されました。1997-98年度、このDL Pを採択した地区は、複数のガバナー補佐を、任命できることになりました。DL Pには、ガバナー責務を軽減するばかりでなく、ガバナー補佐がガバナーの責務を分担することで、地区の運営の再編成が今まで以上に可能になったり、より柔軟性をもった公式訪問が、実施できるようになるという効果がありました。

世界でDL Pを試験的に先に実施した12地区は、1人のガバナー補佐が担当するクラブは、4~8クラブが妥当、と判断しています。なお、2002年6月30日までに、すべての地区がDL Pを開発、採択しなければならなくなりました。

ガバナー補佐の仕事

地区の中を分け、1人のガバナー補佐が数クラブを担当することにより、ガバナーはクラブの管理面に付随する任務の多くを、補佐に委任できることになりました。具体的には、ガバナー補佐は、PETSや地区協議会に出席したり、各クラブを訪問したり、そのスケジュールや計画を立てたりします。地区大会の各クラブ紹介の折、ガバナー補佐が自分の担当しているクラブについて、一言コメントを添えて、紹介するという例も増えてきました。

ガバナー補佐になるための資格と研修

ガバナー補佐も、ガバナーと同じように、その資格に対しては細かい決まりがあります。少なくとも3年間、名誉会員以外の会員身分であること、「地区内クラブに所属している瑕疪なき会員」であること、「クラブ会長を全期務めた経験」などが、必要です(『手続要覧』2007年P38)。ガバナー補佐は毎年、地区から1年の任期で、任命されるのですが、地区指導者の継続性を図るため、そして、多くの指導者に奉仕の機会を提供することができるよう、その1年の任期は3期までに限って、務めることが推奨されています。こういった意味合いも含むので、パストガバナーの任命はしないように、となっています(『手続要覧2007年』P37を参照)。

研修は、ガバナーエレクトにより行われます。ガバナーエレクトは、地区諮問委員会や地区研修リーダーの協力を得て、ガバナー補佐の研修プログラムを開発、実施する義務を負っているからです。「地区内のクラブの管理は、ガバナーの直接監督下に置かれる。」(『手続要覧2007年』P28)。「クラブの管理は、ガバナーの直接監督下に置かれる」という文言は、ガバナーが一方的な独裁をふるうことを意味してはいません。いつでも、最適の候補者を得るために——現任のガバナーは「次なるガバナーにふさわしい候補者」を調査し推薦するように、所管地区内のクラブに対して要請してほしい、とされています。クラブあてに、ガバナー候補者推薦に関する身分・資格・任務に関する書類が届いていることに、お気づきでしょうか。クラブも、自分たちを適格に管理してくれる人を探すように、要請されています。

「ガバナー」には、英国の俗語では、おやじ、父親というニュアンスもあるということは、ガバナー(Governor)の項目で先述しました。あたかも父親が

子どもを導くように、慈愛をもって、ガバナーはクラブを導き、クラブはそれに応えていく、ということなのでしょうか。ガバナー補佐は、もちろんガバナーを補佐してはいますが、あくまでも地区の任命者なのであって、R I の役員とはなり得ません。地区におけるR I 役員は、ガバナーが唯一なのです。

(ロータリージャパンより)



Member's Voice

めんぼう N087

清水 實

生活習慣

生活習慣病にならないように長く続けている運動について述べてみます。

継続は力、惰性でも力という感じで続けている運動(?)について2つ。

一つは毎朝約17分のストレッチ運動。(5~6年前に報告した時は12分でした)これは25年くらい前から、時々起きる腰痛防止のため始めた背筋と腹筋の運動を医者から勧められ、始めたもの。どうせ体操するならきちんとしようかと、図書館に行き体操とかストレッチの本を4~5冊借りてきて、組み立てた。まずウォーミングアップとして軽い手足の運動から(これはNHKのラジオ体操もおなじですね)段々過激な運動に、腕立て伏せも50回しているが、毎日やっているとまさに習慣であまりきつくはない。ただ夏場は汗がだらだらするのは仕方がないこと。

中心に腰痛防止の背筋・腹筋の運動を組み込み、柔軟体操もしっかりと。ストレッチ体操で一番重要なことは『息を止めないこと』呼吸をし続けることが何より大切です。

もう一つは足をつかうこと。10年くらい前までは1週間に1回か2回、10Kmを1時間で走るランニングというかジョギングをしていた。これも図書館でランニングとかジョギングに関する本を借りてきて正しい走り方、ジョギングの仕方を読んで始めた。10Km1時間という数字はずーっと走り続けられるようゆっくりとしたスピードだが体調の悪い時は1時間で走るのがきつくなる。調子が良い時は57分くらいが良いタイム。でも1時間は切らないと、と無理して走ることもあり10年くらい前に8Kmあたりで膝が痛くなることが多くなり、医者に相談したら『年齢を考えなさい、60過ぎたらウォーキングのほうがいいですよ』と。しかし歩くことは時間制限ももうけず、なにか張り合いがない。でも仕方なく歩くことにして、これは1か月平均1日1万歩と目標を定めこの10年程ほぼ毎月守っている。例外としてこの10年の間に2回痛風の発作が起き、このときは無理できず平均1日1万歩が途切れています。ちなみにゴルフを1ラウンドすると、カートにあまり乗らなければその日は約2万歩になります。

一旦引退したつもりが3年半ほど前から毎日仕事に出るようになり、事務所の往復では5千歩くらいなので何もない時は帰宅して近所を歩く。一時は女房と一緒に歩いたが最近はそれが少なく、夕飯の支度中に健康のため私が歩き私一人健康になってはまずいな、という心配がある。